

東京病院の基本理念

基本理念

医療を受ける人の立場に立って
人権を尊重し、安全で質の高い
医療を提供します。

基本方針

- 医療の安全管理に万全を期し、患者本位の医療を提供します。
- 地域医療機関との連携を図り、地域に信頼される医療を提供します。
- 医療従事者の教育・研修に努め、医療に関する情報を提供します。
- 健全で安定的な病院運営に努めます。

独立行政法人国立病院機構の理念は、「国民一人ひとりの健康と我が国の医療の向上のためにたゆまぬ意識改革を行い、健全な経営のもとに患者の目線に立って懇切丁寧に医療を提供し質の高い臨床研究、教育研修の推進につとめます」と掲げられており、その機構の 1 病院である東京病院の理念も基本的には同じです。ただ、強調すべき内容は病院によって多少のニュアンスが異なっており、東京病院では具体的な基本方針として、1) 安全で患者本位の医療、2) 地域に信頼される医療、3) 職員の教育・研修、4) 健全な経営という 4 つの項目をあげています。重要なことは、4 つの項目は独立したものではなく、お互いに密に関連しているということです。また、医療を受ける患者さんの権利として、1) 個人の人格を尊重した医療を受ける権利、2) 信頼に基づく医療を受ける権利、3) 納得のいく説明と情報提供を受ける権利、4) 医療を選ぶ権利、5) プライバシーを保護される権利、6) セカンドオピニオンを求める権利、7) 診療録の開示を求める権利を提示しており、逆に医療を提供する側からのお願いとして、1) ご自分の健康に関することを詳しく正確にお話し下さい、2) あらゆる危険を回避するために職員との連携にご協力ください、3) よりよい医療環境を維持するため病院の規則をお守り下さい、という内容をホームページや院内掲示により患者さんに伝えていきます。また、医療に関連する患者相談窓口を設置し、苦情や相談などを申し出られるようになっていきます。

東京病院は結核医療の中核病院として我が国における中心的役割を担ってきました。結核患者数が減少している現在においても結核病床数 100 床と国内最大規模となっていますが、結核医療で向上した医療技術を呼吸器疾患一般に発展させ、結核以外の呼吸器病床 200 床を維持するに至りました。そして、呼吸器外科を含めた医師数 40 名以上を擁する呼吸器センターは、「東京病院の顔」となっています。東京病院の役割としての一つ目が、日本のひいては世界の呼吸器診療・研究をリードする病院の一つであり続けるという役割です。

しかし、当院は呼吸器に特化した病院ではありません。平成 24 年には、各診療科を診療機能別に消化器センター、喘息・アレルギーセンター、総合診療センターとして統合し、平成 26 年より新たに放射線診療センター、さらに平成 28 年 4 月からは臨床検査センターと腫瘍センターが加わり、総合病院としての診療体制が整備され、各センターが充実・発展してきております。高齢者の患者が中心となる時代の医療は、救命・延命、軽快・治癒、社会復帰を目指す「病院完結型」の医療から、住み慣れた地域や自宅で QOL の維持・向上を目指し、地域全体で患者を支える「地域完結型」の医療へと変革する必要があります。そして、東京病院の役割の二つ目が、地域医療支援病院として、地域完結型医療の中心的役割を担うことであると考えます。